

# ゆずり葉の会



会長あいさつ

会長 太田 敦子



会員の皆様、いつもゆずり葉の会を支えて頂き厚く感謝申し上げます。また事務局である国保連合会様には様々な事務へのご協力、研修会へのお誘い、会誌作成の資金援助等多大なご支援を頂きこの場をお借りし感謝とお礼を申し上げます。

さて、令和3年度の総会もやむなく昨年度同様書面総会となりましたが、約8割の会員の方々からすべての議案に賛同を頂きました。私太田はその表決結果により、4月から佐藤前会長の後を引き継ぎ会長となり、佐藤前会長には顧問に就いて頂き、新副会長には工藤聖子さんが選出されております。このような新体制下にあっても一部中止となったものもありますが、会の事業は止むことなく進められました。まさにゆずり葉の会は多くの会員の協力があってこそその社会貢献活動です。“活動に参加している会員の動きは、それができない者の生きる励みになっていることを忘れないでほしい。”という昨年度会報に寄せられた会員メッセージを思い起こしながら、エールと受け止めてしっかりと進めてまいります。

また、このような事業の取り組み状況について、昨年12月に開催された「東北地方在宅保健師等会連絡会議」(Web会議)でも報告させて頂きました。ゆずり葉の会の先進的な取り組みは他県からも注目され、進め方等運営についての質問に実施経緯等を報告致しました。

コロナ感染状況の先行きは不安な局面でもありますが、昨年開催された東京五輪・パラリンピックの各国のアスリート達が繰り広げた熱いパフォーマンスを思いおこしながら、日常生活でも元気に歩みを進めてまいりたいと思います。

皆様方からのご支援を頂きながら、合わせて皆様のますますのご健勝をお祈りいたします。

## 令和3年度事業について

### 1. 「いきいき百歳体操」推進事業の進捗状況 (R3.12 末現在)

高齢者の健康づくり向上を目指して実施している「いきいき百歳体操・いきいきお口の体操」は、従前の5カ所から8カ所に実施力所が増えました。(体験1カ所含む) 参加者の方々には、とても好評を得ている体操です。

#### 1) 実施地区 (カ所)

能代地区2カ所 (前年2カ所)、秋田周辺地区4カ所 (前年2カ所)、由利本荘地区2カ所 (前年1カ所)

#### 2) 参加者数及び支援会員数 (延べ) (令和4年1月末現在)

|               | 実施回数 (回) | 参加者数 (人) | 支援会員数 (人) |
|---------------|----------|----------|-----------|
| 能代地区          | 63       | 728      | 33        |
| 秋田周辺地区        | 110      | 1,058    | 188       |
| 由利本荘地区 (体験含む) | 39       | 475      | 115       |
| 合 計           | 212      | 2,261    | 336       |



## 2. 受託事業

### 1) 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業

秋田市では、ハイリスクアプローチ（訪問事業）39件を12名の会員で実施しました。

ポピュレーションアプローチ（通いの場・健康教育）は14回を7名で実施しました。内容は、アイスブレイク、脳刺激訓練、「フレイルとは」についての講話を行いました。

五城目町では、ハイリスクアプローチと健康状態不明者の訪問を19件8名の会員で実施しました。ポピュレーションアプローチは4回を5名の会員で実施し、内容は、町の要望によりアイスブレイク、脳刺激訓練、認知症予防等の内容で実施しました。

潟上市は、高齢者の健康状態不明者の訪問を25件7名の会員で実施しました。

担当会員への事業実施の連絡時には、快くお引き受けくださり、ご協力に感謝いたします。



### 2) 「後期高齢者健康づくり訪問」事業

令和3年度は後期高齢者医療広域連合より受託している健康づくり訪問事業の件数は、由利本荘市6件・能代市7件の合計13件でした。内訳を見ると重複受診1件・多受診4件・多剤服用4件・高血圧未治療者4件となっています。対応して頂いた会員は由利本荘市5名・能代市1名の方々です。令和4年度以降は「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」事業で県内各市町村で実施の方向ですので、広域連合からの受託はなくなります。

これまでご協力を頂いた会員の皆様にはお礼を申し上げます。

### 3) 「フレイル健診」

#### ①実施地区

能代市、男鹿市、にかほ市、五城目町の3市1町で実施しました。

#### ②参加者数及び支援会員数（延べ）

能代市及びにかほ市は、新たにそれぞれの地区会員に協力をいただきました。

|      | 実施回数 | 参加者数 | 支援会員数 |
|------|------|------|-------|
| 能代市  | 2回   | 52人  | 4人    |
| 五城目町 | 6回   | 77人  | 12人   |
| 男鹿市  | 4回   | 66人  | 8人    |
| にかほ市 | 4回   | 105人 | 10人   |
| 合計   | 16回  | 300人 | 34人   |



## ☆事業を委託した自治体の方々からのメッセージ☆

### 秋田市特定健診課 参事 田中 としみ 様

先日、秋田県の健康寿命が男女とも延伸し全国順位が上がったといううれしい報道がありました。高齢者一人ひとりの取組と関係者の地道な努力が数値になったものと思います。

ゆずり葉の会のお力をお借りしながら「一体的実施事業」に取り組んで早2年。諸先輩と一緒に活動する中で、地域の健康を支える看護職の専門性について多くの学びを得ています。本当にありがとうございます。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

### 五城目町健康福祉課 主事 佐藤 貴彰 様

私は事務職で、現場経験がありません。認知症予防をテーマに依頼した通いの場には今年初めて参加しました。豊富な経験と専門的な知識から参加者を引き付ける話術や脳刺激訓練等、学びあり笑いありの楽しい時間でした。今後も町民のフレイル予防への関心を高め、健康保持増進を図るため、ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

※ 会員交流会、研修会は中止となりました。



## ■ 現職保健師からのメッセージ



秋田県保健師会 会長 高橋 香苗（秋田県健康福祉部保健・疾病対策課）

新型コロナの猛威は収まらず、独自活動はほとんどできずにいます。ゆずり葉の会の皆様には様々な場面で多大なご協力を賜り、諸先輩のお力の大きさを痛感しております。今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



秋田県看護協会 保健師職能委員長 鹿子沢 真由美

昨年度はコロナ禍で中止となった事業もありますが、今年度は感染対策に配慮しながら、ゆずり葉の会等とも連携して事業が実施できればと考えております。また、皆様のお知恵を拝借し会員の増加も図っていききたいと思います、引き続きよろしくお願いいたします。

## ■ 「令和3年度東北地方在宅保健師等会連絡会議」の報告

12月3日（金）に東北地方在宅保健師等会連絡会議が行われました。当番県は新潟県でしたが、コロナ禍の中、リモートによる会議が実施されました。当会からは、役員3名と顧問、事務局が参加しました。

午前には講演「在宅保健師等会における活動」と題して国保中央会から保健事業をとりまく国の動き等の説明があり、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施及び計画状況」については、秋田県が全国の中で進んでいることが分かりました。その他、都道府県在宅保健師等会連絡会役員会についての報告や『島の保健室』と題した新潟県佐渡市の事例についての講演がありました。

午後からは各県の活動報告がありました。その中で、本県のように組織として委託契約を取り交わし、協力会員に支払いを行っている都道府県はなく、先進的な活動を行っていることが実感できました。

初めのリモート会議でしたが、説明も意見交換もスムーズに行われ、次回は会員の方々にも参加して頂きたいと思いました。



## 新入会員



### ○難波はつ子（秋田・男鹿・南秋地区）

「ゆずり葉の会」の方々と知りあい、精力的に地域活動に貢献している姿を見て深い感銘を受けました。今回、高齢者訪問を体験して強く訪問を拒否するケースと出会ったり又、訪問を受けいれ様々な状況をお話ししてくれる方と出会う事が出来ました。今後、会員の皆様から多くを学び事業に参加させていただく事をありがたく思います。よろしくお願い致します。

## 人生 100 年

### ○渡辺美和子（秋田・男鹿・南秋地区）



コロナが縁で「ゆずり葉の会」の方々とお仕事をさせて頂き、皆様の活動を知りました。幾つになっても向上心を持ち、明るく周りを照らしながら活動する姿に感動しました。

人生 100 年、私も日々勉強しながら皆様について行き、少しでも社会のお役に立ちたいと思います。よろしくお願い致します。

## 会員メッセージ

### 鹿角・大館地区

#### 上野 静子

今年は雪が多いですね。道路脇の雪の壁が高くて見通しがきかず、運転も大変です。

枯枝を飾る雪の量も多く、色んな形の雪の花を咲かせてくれ、青空の日は青と白の素敵なコントラストが気分を清々しくしてくれます。

雪が多いといえは忘れられないのが、昭和 48 年のいわゆるヨンパチ豪雪です。この年私は看護学校の受験でした。試験の事はさっぱり忘れましたが、秋田市千秋久保田町にあった看護学校の玄関が道路のずっと下にありました。忘れられない半世紀前の思い出です。

#### 中村みえ子

“今年こそは”と思っていましたが、今度はオミクロン株なる変異種が日本中・世界中を悩ませています。

元気なうちに、健康なうちに、まだ体が自由に動く時期にと色々考えていたことが中々思うように進まない昨今です。最近、体力気力の衰えを少なからず感じる日々ですが、“明けない夜はない”“春のこない冬はない”と信じ、希望をもってこの難局を皆と乗り越えたいと思っています。

### 北 秋 田 地 区

#### 高齢家族

#### 河村 光子

90 歳の義父は、時々、自分でステーキを焼き、ナイフとフォークで食べ、春から秋はグランドゴルフを楽しんでいます。クモ膜下出血、心臓にはステント、両膝は人工関節、交通事故の大怪我を乗り越え、とても元気です。食後の歯磨きも欠かしません。元気高齢者のお手本と一緒に生活しています。

少子高齢化の村ですが、私自身も目の前の義父を見ながら、フレイル予防に近所の同年代のお母さん達と声をかけながら、ウォーキングを楽しみながら続けたいと思っています。

## 来る年は明るい 1 年を願い

#### 松橋セツ子

今年もあっという間に 1 年過ぎた。若い人達も 1 年経つのが早いという。世の中暗いニュースが多すぎる。コロナもいつまで続くのか。次々新しい型が出てくる。終りがないかも…。またも暗くなる。行きたい所へも行けないでいる。孫にも会いたいの。早くすっきりした生活がしたいものと想いながら毎日同じコースを歩いている。今年の夏は 4 ヶ月朝 5 時から歩いた。よく続いたねと仲間とほめあいながら今は朝食後に歩いている。元気に歩けることに感謝しながら。



## 能代・山本地区

### 「聴く」



#### 松田かよ子

介護認定申請のため、娘さんから相談を受けその方のお母さんに会ったのですが、訪問をととても喜んでくれ、若い頃から現在に至るまでいきいきと話してくれました。人の話を聴かせてもらえる保健師・ケアマネ業務に幸せを感じ、聴く力をもっと磨きたいと思っています。

### 感謝の気持ちで



#### 成田あさ子

昨年はお寺のことで予想だにしないことになり、慌ただしい日々を送りました。そんな中で人の温かさや優しさにふれ、新たな発見も多々ありました。家族の協力・支えはもちろんのこと、姉夫婦やお檀家さんのお世話になり、感謝の言葉しかありません。

背伸びせず無理せず豊かな気持ちで、感謝を忘れず穏やかに過ごしたいと思う今日この頃です。

## 秋田・男鹿・南秋地区

### 新型コロナウイルスによせて



#### 鐙 妙子

コロナウイルスの感染者の増減を気にしての生活、コロナ禍により社会がデジタル化にむかって動いているようだがついていけない。人の心も、社会の動き方も変わり、という方向に進もうとしているか不安である。

マイペースで人生を楽しんで生きたいと思っている。

#### 池田 信子

81 歳になりました。車の運転免許証を返納しました。行動範囲がとてせまくなりました。ゆずり葉の連絡が来ると、専門職「保健師」に引きもどしてくれます。元氣になります。感謝しています。

令和3年の目標は、自分で大根を干して沢庵をつくることでした。われながら上手にできました。

### 今年の目標

#### 伊藤 幸子

1月3日の朝日新聞に「声出して『天声人語』読み続ける」という記事が掲載されていた。声を出すことは健康にも良いと言われている。これなら続けられるかも知れないと思い早速3日から毎日1回の音読を開始した。音読は思いの外難しく、すらすら読めないこともあるが頑張って続けてみようと思う。

## 太田 敦子



昨年県外の身内が“コロナ”に感染した。駆けつけることは叶わず連絡は電話とメールで終始し、濃厚接触者である家族が解熱剤や日用品の買い出しに出かけた。家族皆が悪夢の日々だった。都会の保健所対応は秋田とは異なり、在宅の患者にパルスオキシメーターが配布されただけでその他の対応はなく、病状は悪化の一途をたどり皆の不安や焦りが大きくなっていった。本人はあまりの辛さに命の終わりを感じたそうだ。家族内感染がなかったことが唯一の救いだった。快復後4カ月目に入り後遺症の味覚異常が少しずつ戻ってきたと嬉しい連絡があったが、感染者の生活への代償は大きくQOLの低下は否めない。感染しないことが一番である。

## 春日 静子

昨年度、某町からの委託事業は認知症予防がテーマでした。ゆずり葉メンバーも参集者も似たような年齢。「お互い他人ごとでないね」と頷き合ったり、一緒にゲームに熱中したり…。お蔭様で私自身の脳も刺激を受け元氣になった一日でした。

## 鹿子沢 真由美



名前だけ登録の会員で、申し訳なく思います。今少し現役を続け、ゆずり葉の会とも連携して活動できればと考えております。また、看護協会との連携もよろしくお願いします。皆様が元氣に活躍する姿に励まされながら、日々頑張っています。

### 「健康が一番大切」

## 岸 マサ

今年、孫たちは何歳になるかと思い年齢早見表をみたら、それぞれ～歳になるらしい。自分の齢は～歳だと思い改めて活字の数字をみた。頭では～歳と思っていても何も考えずにいたが、いよいよ自動車免許返納を認知、返納の後の日常生活の不便さが不安。安全と安心で暮らせる生活設計をじっくり考える必要をつくづく思った新年です。

### 「怪我にも注意」

## 工藤 聖子

年の始め、交差点の横断歩道を歩行中に右折車が突進してきて、左手首を捻挫。年末、自宅で靴下をはいたまま着替えしていて滑って転倒。左手首を骨折し、ギプス固定。一年で同じ部位を二度も痛めるとは。

病気だけでなく怪我にも注意しなければと痛感しています。

## 「最高のひととき」



### 幸坂 徳子

新しい事を始めるのは、頭の体操として良いと思いますが、年々物覚えが悪くなり、皆について行くのが大変です。地域の女性サロンで編み物やカゴ作りをしていますが、完成まで時間がかかってしまいます。

また、冬場は運動不足でスポーツクラブでウォーキングマシンやエアロバイク等をやっていますが、オミクロン株が増して通うのが危なくなって来ました。今年は雪も多く、雪寄せした後の昼寝が最高のひとときとなっています。

## 新型コロナと共存する日常へ



### 嵯峨 司子

新型コロナは、最近落ち着いています。私が働いている潟上市でも今年はコロナ前とはいきませんが保健活動が活発化してきています。100年前のスペイン風邪は約2年で収束したようです。コロナも今年で2年。そろそろ収束して欲しいものです。

## 家庭訪問失敗談



### 佐藤 潤子

皆様は家庭訪問でお茶をすすめられた時どうしますか。ある高齢の方を訪問して何度もお茶を勧められ、「どうぞ気を使わないでください。」とただただお断りしていた私の気遣いが、相手の方に却って負担をかけてしまったという失敗談です。その方は昼ごはんも食べずに保健師を迎えてくれ、水分も摂らないまま訪問も長時間だったため、終わった後、玄関で倒れてしまったと後で聞き、自身の配慮不足に大きな反省が残った訪問だったので。



### 澤木みわ子

入会2年目。後期高齢者訪問指導をドキドキしながら体験しました。また、高齢者医療制度円滑運営事業のリンクワーカーの一員として係わらせていただき、担当者の皆さんのきめ細やかな対応に感動しております。

## 近況報告

### 清水 昱子

今年も新しい年を迎え、夫と二人暮らしで、今までと変わらぬ生活を送っています。

子供や孫達は県外に住んでおり、たまに会ってもほとんど理解できないことが多くなってきました。

今年も健康で、規則正しい生活をと心がけておりますが、いつまで続くことや。

### 庄司 光子

昨年6月に数年ぶりに森吉山に登りました。高山植物が花盛りの季節で、お花畑を見るだけでいいと思い行ったのですが、花に誘われながら頂上まで行きました。山頂はあいにく雲がかかってましたが、途中は山々が広がり素晴らしい景色でした。私の足も軽くこれもまた嬉しかったです。

### 田口 美智子



年末の子ども達の帰省を少し期待していましたが、結局帰ってきませんでした。その後第6波の到来で、爆発的に増えてきている今、帰省しなかったのは賢明な選択だったなあと思っています。

保健所や医療機関の皆様の奮闘に感謝し、業務があんまり大変にならないといいなと願っています。

## 会の事業に参加して

### 宮腰 玲子



高齢者への家庭訪問を実施して2年になりますが、普段、仲間達と水泳、コーラス、手芸の出展・販売等を通して社会参加している様子を話してくれる高齢の女性の方々と出会う事が多く、“今も現役”“まだまだ現役”という姿に、毎年感心しています。

## 由利本荘・にかほ地区

### 石垣 みつ子

在宅保健師等ゆずり葉の会事業で協力できる事業であれば協力したいと思っております。

## 忘れられない1年

### 大場トシ子



昨年の春の叙勲で瑞宝単光章を賜るという人生黄昏時に彩りを添えてくれた出来事がありました。

2年前に幕尻優勝力士がインタビューされて「私なんぞが、このような賞を頂いてもよろしいものでしょうか」と発した言葉があったがまさにその様な心境であった。紙上発表されてからは、看護協会会長、ゆずり葉会長、各名士を始め多くの方々から祝意を頂き、存在感のない私の事を良く思い出してくださったと感激の日々でした。この様な喜びもゆずり葉会員として数々の受賞を踏まえ頂いた事を思い改めて組織の有り難さを感じ入った次第です。

そして結婚して50年目という節目、又、喜寿祝いを身近な同級生と密かに行なうなど慌ただしいながらも忘れられない1年でした。

## 『生涯現役』第3報

### 河西 淑子



本会事業の「いきいき百歳体操」が楽しい。参加者の「楽しい」「一日中誰とも話をしない日がある。体操の日は脳トレで体と心を満足させぐっすり眠れる」等々嬉しい声が私自身の大事な健康作りになっている。次年度は社協から地域で体験会を開きたいとの声がかかっている。有り難いことである。

健康寿命延伸を目標にもう少し頑張ろう！



## とりあえず元気でガンバってます!!

齊藤 フデ

昨年5月末で会社の嘱託保健師を卒業。  
週1回の体操教室に通いながら、家族介護と家事従事、  
少し畑作業を行っております。

昨年は「知事表彰」ありがとうございました。  
年末年始は、毎日除雪作業に汗を流しており、「新型コロナ  
＝オミクロン株」の感染拡大を心配しております。  
早く新型コロナが落ち着いて、会員の皆様にお会い出来る  
日が来ることを願っています。



宝池 律子

前会長 佐藤さん長い間ご苦勞様でござ  
いました。私も80才を目前にして時に人  
の名前、花の名前まで思い出せず加えて体  
力の衰えを感じています。それでも前向き  
に脳トレ、パタカラ体操等体力作りに頑張りたいと思っ  
ています。

## (近況報告)

本間美佐子

皆様お元気ですか? ゆずり葉の会に入会してもうすぐ  
10年になります。東日本大震災の時に岩手県で生まれた  
孫が(現在は同居)10歳になり、4月には6年生になり  
ます。二番目の孫も9歳の誕生日を迎えました。退職後は  
国民健康保険団体連合会・県立秋田職業専門学校と様々保  
健師としての資格を活かして仕事ことができました。現在はB  
型就労支援事業所で地域の活性化を目指して活動を行って  
います。令和3年度は事業所でサービス管理責任者の資格  
を取得することができました。

共生社会の中で保健師の資格を活かしながら仕事ができ  
ることに幸せを感じています。

## 殉職救護員の先輩

正木みえ子



由利地域にも殉職救護員(従軍看護婦)  
の方がおられたこと、その方が看護学校・  
高校の先輩であり、身近な方のお姉さんだっ  
た事を知ったのは開戦八十年の一ヶ月前で  
した。妹さんも亡くなってしまい、もう少し早ければお話  
を覚えてもらえたのにと残念な気持ちです。



三浦 昭子

昨年度、雪の降り始めは11月上旬でし  
た。

晩秋の頃、よく見かけるカマキリの卵は、  
通常畑の草などについていて、多くは膝く  
らいの高さにみられます。年明けて1月中旬、高さ2メー  
トル余の大てまりの枝にカマキリの卵10数個身を寄せ  
あっているのを見つけました。

いくら何でもこんなに高く雪が降るはずはないだろうと  
思っていました。が、本格的な雪の風景では予想的中し、  
科学的根拠は不明ですがカマキリの予見には驚きました。

昨年の今頃は未曾有の降雪に奮闘していました。

## 大仙・仙北・美郷地区

## BATON ～コロナ禍に寄せて～

加藤真理子



コロナ禍となり俄に注目された保健所と  
保健師。結核やAIDSや諸々の感染症と向  
き合い戦ってきた歴史があり、その最前線  
で働いていた事を初めて知った人も多いよ  
うだ。感染症対策は公衆衛生の原点であり古くて新しい分  
野。これまで多くの先輩たちがコロナと同じ様に感染症に  
向き合ってきた。そしてBATONを託されてきた。

この大きな難しいコロナへの体験や知識を、次の世代へ  
保健師の視点でBATONを繋げていきたいと思う。

## 明日は明日の風が吹く

小松 京子



コロナ、コロナでマスク生活が続いてい  
る毎日です。週3回の仕事、筋トレ、高齢  
者とのかわりをして思うこと。「自分を元  
気づける一番の方法は他の人を元気づけて  
あげること」と思って暮らしていきたいと考えています。

## 特定保健指導は難しい

高橋久美子



昨年1月から秋田自動車販売健康保険組  
合で事務手伝いと特定保健指導をしていま  
す。特に特定保健指導では、生活習慣病の  
理解とその対策を実行してもらうことの難  
しさを感じています。

## 横手・湯沢・雄勝地区

高岡和賀子

同じ立場で働いていた同僚が2、3年中に4人も他界さ  
れ寂しい限りです。さて師走に当町の行事の一環として実  
施されているふれあい訪問に参加しました。安否、火の元、  
冬期間安心して過ごせるような環境作りを目標としたもの  
です。

私の担当する7名とも元気ですごしておりましたので安  
心しているところです。

## 「ペコぱんだ」

照井 富子

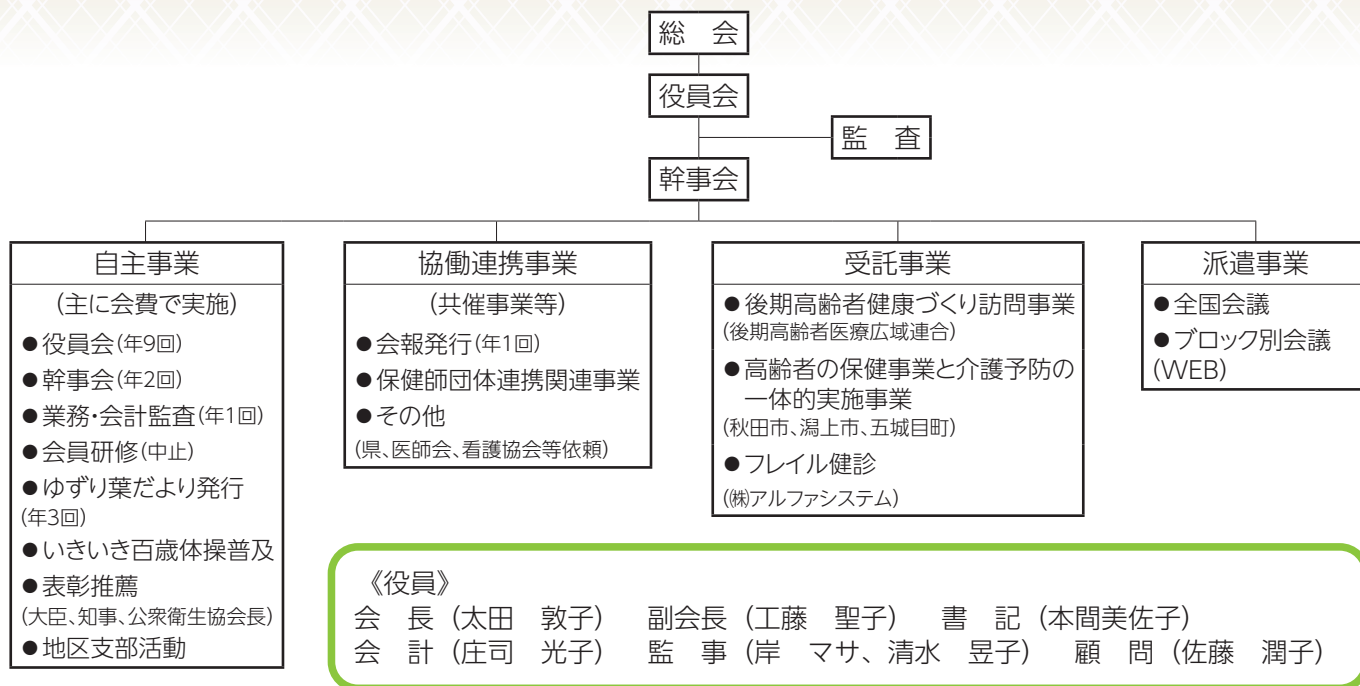
食欲旺盛、運動バッチリで健康と思いきや足りないもの  
がありました。

お口と喉の衰えです。自粛生活で人と大声で話す機会が  
少ない上、夫婦の会話は「アレ、ソレ、コレ」「ウン」で  
成り立ちます。

手の届く所にペコぱんだがあり、歯科医の診療台の前には  
「パタカラ」のポスター。

絵に描いたモチにならないよう、実行あるのみです。

## 秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会組織・実施事業等一覧（令和3年度）



## 会員数（令和4年3月末現在）

| 地区名  | 鹿角・大館 | 北秋田   | 能代・山本 | 秋田・男鹿・南秋 | 由利本荘・にかほ | 大仙・仙北・美郷 | 横手・湯沢・雄勝 | 計  |
|------|-------|-------|-------|----------|----------|----------|----------|----|
| 人数   | 4     | 8     | 5     | 30       | 17       | 11       | 5        | 80 |
| 地区幹事 | 上野 静子 | 松橋セツ子 | 松田かよ子 | 大島 良子    | 河西 淑子    | 高橋久美子    | 照井 富子    |    |



### 編集後記

コロナ禍のこの一年、会の主要事業である「交流・研修会」の開催を断念せざるを得ませんでした。「次回こそは」と祈っています。その他、受託した事業については、感染対策をとりながら対応することができ安堵しています。

会員の方々の会活動への関与の度合いは、それぞれの思いや生活スタイル、健康状態などにより違いがあるかもしれません。それぞれの思いや事情を尊重し、また、ゆるやかなつながりと生涯学び続ける姿勢を大切にした無理のない活動がこれからも続いていくよう願っています。



秋田県在宅保健師等ゆずり葉の会  
会報編集委員一同（事務局並びに役員）

## 祝 令和3年度表彰受賞者

### 〔厚生労働大臣表彰〕

令和4年1月受賞

佐藤 潤子  
中村 みえ子

### 〔日本公衆衛生協会会長表彰〕

令和3年12月受賞

宮腰 玲子  
嵯峨 司子

### 〔秋田県知事表彰〕

令和3年11月受賞

伊藤 幸子  
松田 かよ子  
斉藤 フデ

7名の会員が栄えある受賞です。  
心よりお祝い申し上げます。

ご意見・ご要望、会員の活動報告など なんでも事務局へお寄せ下さい。